



の だ っ 子

令和6年
4月30日発行

一日を決める素敵な挨拶

校長 平山 哲也

4月を迎え、様々な処から春の息吹を感じています。毎朝香る筍の匂いも、野田の春を感じるその一つです。4月8日新任式・始業式で新6年生～新2年生と初めて出会い、素敵な笑顔と元気な挨拶をいただきました。入学式で新1年生と初めて出会い、これから始まる学校生活への希望の眼差しをいただきました。「令和6年度野田小学校」は、全校児童180人、新しい教職員5人を含めた21人でスタートしました。「令和6年度野田幼稚園」は、園児4人、職員4人でのスタートです。



4月9日はいよいよ1年生が歩いて来る、いわば「登校初日」です。我が子を学校に送り出す保護者の気持ちを考えると、改めて、学校は「安心・安全な場所であるべきだ」と再確認させられます。

私は、朝7時30分から8時の間、校門前に立って児童達を迎えることを心掛けています。学校前の道路は一直線で見晴らしも良いため、遠くから歩いてくる児童の姿がよく見えます。親子で登校したり、兄弟姉妹で登校したりと、様々な形で登校が見られます。多くの児童が自分から「校長先生おはようございます」と元気に挨拶をしてくれます。大きめのランドセルに、両手いっぱい荷物を抱えた1年生も「おはようございます」と、日に日に挨拶を返すことができるようになりました。毎朝、素晴らしい成長を目の当たりにしている私です。私が始業式で「同じ挨拶でも、立ち止まって挨拶すると格好いいな。相手の与える印象が変わりますよ」と話したことを児童達は早速実践してくれています。だから、そんな児童の姿に「ありがとう」と返しています。先日、6年生のお姉さんと一緒に歩いてきた1年生。お姉さんがきちんと立ち止まって挨拶すると、「ほら」と頭と腰に手をかざして挨拶するように弟に促します。真似をして怪訝な感じで挨拶する1年生です。朝の時間、こんな様子があちこちで見られます。1年生の世話をしあげる高学年の姿は何より温かいです。6年生でなくても、中庭にいた高学年児童は、1年生の靴箱まで連れて行ってあげます。進級したことが自分自身を少しずつ成長させているようです。朝の立哨指導で一緒になった地域の方からも「立ち止まって挨拶する児童が多くて気持ちいいですね」とお褒めの言葉をいただきました。



【学校教育目標】 前進する野田っ子

【校訓】 礼儀正しく よく学び 進んで行動する

今年一年は、いつでも前を向いて、毎日「昨日とちがう私」を再発見しようとする児童の育成を目指し、地域・保護者・学校が一体となった『チームで動くのだ』を目指していきます。よろしくお祈りします。